

## 奈加美文化館竣工



奈加美文化館格天井「三貴神と四季の花」藤原祐寛先生門下のご奉納

今年四月に元資料館の改修工事が竣工し、「奈加美文化館」と改称しました。令和二年に泉佐野市が広域日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間」北前船寄港地・船主集落」に追加認定されました。当社が所蔵する奉納弁才船（木製の帆掛け船の模型）も日本遺産の構成文化財として認定されたことにより、行政の助成を受け、美しく甦りました。今回の工事は社務所改築の際にもお世話になりました。今坂工務店に施工をお願いしました。良質の木材をふんだんに使用して頂き、上品な仕上がりとなっております。玄関を入ると、海をイメージしたコバルト色の絨毯に北前船が浮かび、天井を見上げると高野山画僧・藤原祐寛先生と門下生に描いて頂いた「三貴神と四季の花」の格天井が目を見えます。三貴神は伊邪那岐命が黄泉の国から逃げ帰り、禊（みそぎ）を行った際にお生まれになった貴い神々です。左の御目をお清めになったときには天照大御神、右の御目をお清めになったときには月読



帆柱・帆桁・帆を復元した北前船 1/10 模型

命、御鼻をお清めになったときには須佐之男命がお生まれになりました。天照大御神は高天原を治める太陽の神、月読命は夜を治める月の神、須佐之男命は海原を治める海の神です。この「三貴神」を中心に、四隅には泉佐野市の木と鳥、「イチヨウとルリビタキ」を配し、右隅から左周りに春夏秋冬と四季折々の草花が散りばめられています。

祝祭日は国旗「日の丸」を揚げましょう  
君が代は 千代に八千代に  
さざれ石の いわおとなりて  
こけのおすまで

第30号

令和5年  
12月15日発行  
奈加美神社  
泉佐野市中庄 834  
電話 462-7080

そしてメインの展示は北前船の十分の一模型です。帆柱と帆桁は今坂工務店に、帆は敬神婦人会の松浪君代会長に復元して頂きました。



その他、本殿造営時の棟札(一六一〇)を始め、奈加美神社所蔵の大絵馬、三十六歌仙絵馬など、神社に伝わる文化財を展示しております。お正月、秋祭りなどの参拝者が混雑する時期を除いて、普段は午前十時頃より午後四時頃まで開館しております。

ります。なお、休館日は不定期とさせていただきます。また文化館では御朱印の受付や御守の授与もいたしておりますので、どうぞお立ち寄りください。

### 特別御朱印のご案内

御朱印とは神社の参拝の証として神社の朱印に神社名や参拝日などを墨書するもので、多くの方々が御朱印を求めて巡拝されております。

御朱印ブームは十数年前からですが、令和の御代替わりの頃から更に広がり、最近では日本文化を愛する外国人の方々にも広がりを見せられています。



泉佐野市は関西国際空港のお膝元でありますので、泉州地域の方々はもちろん、全国各地からご参拝を頂いております。

当社では本社を始め、末社の

から授与させて頂く特別御朱印は、「切り絵御朱印」です。大阪の神社ではまだ少ないですが、全国的に広がりつつあります。幸福の鳥居に白野田藤が咲き、桜の花が散りばめられています。大変綺麗な仕



そしてお正月



大宮稲荷神社、不二宮の御朱印もご用意いたしております。また奈加美文化館の開館を記念して、「北前船」「三貴神」の見開きサイズのものもご用意いたしております。

これらの御朱印は全て高野山画僧・藤原祐寛先生に描いて頂いたものです。和紙の裏面には糊が施されており、シール地)ので、御朱印帳にもきれいに貼って頂くことができます。

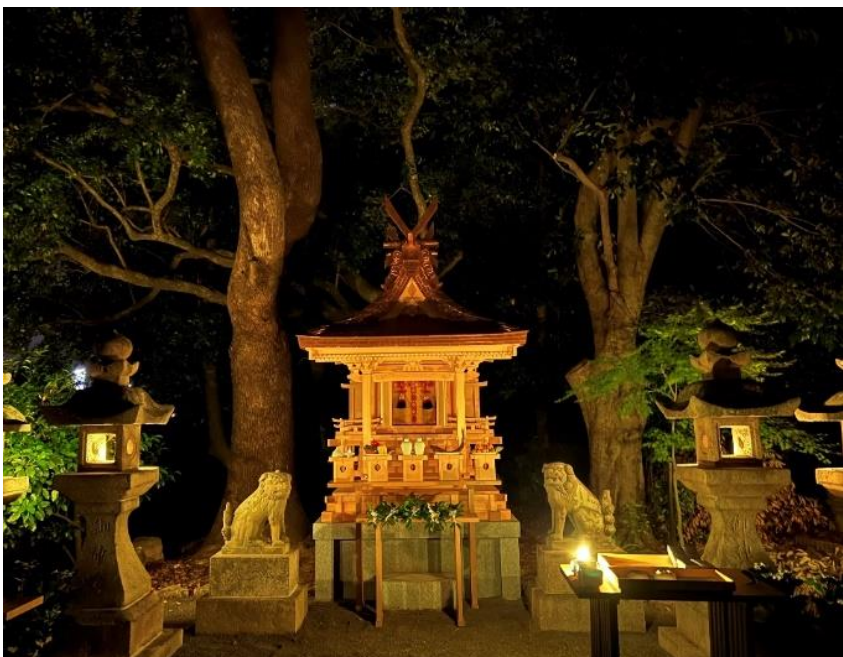
上がりですので、ご参拝の折にぜひお受けください。



けちのかみ  
計知之神  
新社殿奉納

大宮稲荷神社の社殿奉納に続き、今年も紀州宮大工・藤井勝明氏により計知之神の新社殿のご奉納を頂きました。ご厚

志に心より感謝申し上げます。  
今回の社殿の建築様式は春日造りです。奈良の春日大社が有名ですが、奈良県や和歌山県下で多くみられます。大宮稲荷神社のような流造りの屋根は平入り、春日造りは妻入りの形式となり、正面から見ると流造りよりも背が高く感じます。



計知之神は現在の中庄町内会館付近に石祠で祀られており、明治四十一年の合祀の際、本殿に合祀されることなく、本殿奥の鎮守の森の入口に石祠ごと遷座し、

百年余りこの村を見守ってくださいました。

この度立派な社殿が建立され、五月二十七日の夕刻に遷座祭をご奉仕申し上げ、浄閣のなか拝殿内仮宮より新宮にお鎮まりになりました。

正面には和泉砂岩の狛犬一对、石燈籠三対六基を配し、鎮守の森の木々を背景に美しい佇まいとなりましたので、ぜひご参拝下さい。



計知之神について古文書には、正月五日にけちの座が行われ、神主が雁股矢(かりまたのや)・鏑矢(かぶらや)を丑寅の方(鬼門)に三度射て、明きの方(恵方)に御幣を奉ったという記録が残ります。

計知(ケチ)とは結鎮(ケチ)の当て字と考えられます。当社ではその神事は途絶えておりますが、摂津国一之宮・住吉大

社では、年初めに「御結鎮神事」（みけちしんじ）という神事が今も行われています。別名「お弓始め」ともいわれ、邪気退散、天下泰平を祈願して行う神事で、一切の不浄を祓い、福を招くとされています。農事に災禍をもたらす悪霊を退散させることを目的として行われてきたそうです。（住吉大社HPより）

## 大宮稻荷神社 石玉垣ご奉納のお願い



令和二年十二月に竣工しました大宮稻荷神社の本殿周りの石玉垣に数本の余地がございます。大神様に一番近い場所となりますので、ぜひご奉納賜りますようお願い申し上げます。

奉納初穂料 三十万円（彫刻費用別途）

## 安産戌の日まいり

当社の主祭神は応神天皇（八幡さま）、そして配祭神には母君の神功皇后がお祀りされております。古事記によると約一八〇〇年前、神功皇后は朝鮮半島に出征した際、お腹に応神天皇を身ごもっており、その時に石を帯の中に巻き付け、帰還後に無事お産みになったことが記されています。このことから神功皇后は安産の神として崇められ、岩田帯の起源にもなったと言われています。安産祈願は一般的に妊娠五ヶ月の戌の日にお祓いを受け、岩田帯を着帯します。戌の日にお参りするのには犬が多産であり、安産であることに因みます。

目出度く子宝に恵まれた際には、戌の日の安産祈願にお参り下さい。安産御守、岩田帯と共に、普段でも簡易にお使い頂ける腹巻型の腹帯もお授けしております。



馬場大絵に伝わる奈加美神社の  
円山応挙の門弟により描かれたもので、神功皇后と  
武内宿禰を抱く応神天皇

### 令和6年 安産戌の日の表

1月	11日(木) 23日(火)
2月	4日(日) 16日(金) 28日(水)
3月	11日(月) 23日(土)
4月	4日(木) 16日(火) 28日(日)
5月	10日(金) 22日(水)
6月	3日(月) 15日(土) 27日(木)
7月	9日(火) 21日(日)
8月	2日(金) 14日(水) 26日(月)
9月	7日(土) 19日(木)
10月	1日(火) 13日(日) 25日(金)
11月	6日(水) 18日(月) 30日(土)
12月	12日(木) 24日(火)



### ご祈祷のご案内

お宮参り・安産祈願・七五三  
厄除け・車のお祓い・地鎮祭  
住宅入居のお祓い、各種お祓い  
神道家葬祭・霊祭、神棚の  
相談等も受付いたしております  
お電話にてお問い合わせ下さい

公式ホームページ開設  
<http://www.nakami.org>

インスタグラム・フェイスブック公式  
ページにフォローを宜しくお願ひします

